

バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症 Q & A

WaICCS(和歌山感染危機管理支援ネットワーク) R3.12.27 作成

R4.5.10 更新

■ VRE 一般についてのご質問

VRE とは何ですか？	腸球菌は人や動物の腸に住み着いている菌（常在菌）です。VRE とは、バンコマイシンという抗菌薬に耐性を獲得した（効かなくなった）腸球菌です。
VRE の国内状況はどうなっていますか？	我が国では、VRE 感染症は感染症発生動向調査において全数把握対象疾患になっています。ただし、これは症状がある場合（VRE 感染症）に限った届出となっています。近年、急性期医療機関からの報告数が増加し、2020 年には全国で 135 例の VRE が報告されました。また、VRE が報告された都道府県数は、2013 年が 15 都道府県であったのに対し、2020 年では 26 都道府県と、約 1.7 倍に増加しています。VRE が検出された方のほとんどは無症状の保菌者ですので、保菌者を含めるとこれ以上の広がりがあると考えられます。
VRE の保菌と感染症の違いは何ですか？	腸内に VRE が存在するだけで、どのような病気も起こしていない状態を「保菌」といいます。VRE によって発熱などの症状を引き起こしている状態を「感染症」といいます。
VRE に感染したらどうなりますか？	健康人の腸内などに VRE がいても、病原性が非常に弱いので、病気（感染症）をおこすことはありません。しかし、白血病等の癌、胸腹部外科手術後、熱傷、移植といった基礎疾患を有する患者では、敗血症などの重篤な感染症の原因となることがあります。
VRE 感染症にはどんなものがありますか？	血流感染症（菌血症）、感染性心内膜炎、尿路感染症、胆管炎、創部感染症などが代表的です。
下痢しているのですが、VRE ではないですか？	VRE は元々腸内にいる病原性の低い菌ですので、腸炎や下痢を起こすことはありません。その他の病気の可能性につきましては、医師にご相談ください。
VRE はどのように感染するのですか？	VRE は接触感染によって広がります。VRE をもっているヒト（保菌者といいますが）の便から排出された VRE が、保菌者の手からヒトへの直接的感染、あるいは医療従事者やベッド柵、トイレ、ドアノブなどの環境を介した間接的感染によって伝播していきます。VRE 保菌者の飛沫（咳やくしゃみ）では感染しません。
VRE に感染したかどうかはどのように分かりますか？	便や直腸のぬぐい液を培養することで分かります。VRE は感染しても通常は無症状なため、VRE を狙った検査をしてはじめて保菌者であるかどうか確認できます。

VRE の何が悪いのですか？	腸球菌はもともと有効な抗生物質が少ない菌です。VRE ではさらにバンコマイシンという普通の腸球菌なら効くはずの抗生物質が効かなくなっている（これを耐性といいます）ため、有効な抗生物質が非常に少ない多剤耐性菌であることが問題です。
そんなに怖くない細菌とのことですが、なぜ大騒ぎになるのですか？	VRE 自体の病原性は弱いのですが、重い病気の患者さんが VRE 感染症を発症すると重症化するおそれがあります。 感染しても無症状であることが多く、VRE を狙って検査をしない限り検出できませんので、感染状況が正確に把握することが難しく、上記のような患者さんが入院している病院ではとくに注意が必要といわれています。

■VRE 陽性の方からのご質問

VRE に感染すると退院できないのですか？	入院の原因となった病気が治れば通常通り退院できます。高齢者で VRE を保菌している方が老人保健施設や介護施設へ転院される場合、施設の受け入れ態勢が整うまで退院延期になることもあります。
VRE に感染していると言われました。退院後の日常生活はどうしたらよいでしょうか？	周囲に高齢者や新生児、特別に抵抗力の弱い方がいない場合は、過度に神経質になる必要はありませんが、できるだけ、以下のことを心がけてください。 手洗い ：食事前、トイレ後には石けんと流水で手洗いをしてください。 トイレ ：温水洗浄便座のノズルを介した感染の可能性が示唆された報告もありますので、ご家族の中に感染させたくない方がいる場合には、使用しない方がよいかもしれません。 入浴 ：出来るだけ入浴し、体を清潔にします。（シャワーも可）浴槽には体を洗ってから入るようにしましょう。 食事 ：制限はありません。 洗濯 ：便や尿で汚れがある場合は、下洗いを行ってから、他の家族の洗濯物と一緒に洗ってください。また、よく乾燥させてください。 運動 ：制限はありません
VRE に感染していると言われました。家族や知り合いに感染しませんか？	主に便から感染する菌ですので、トイレの後など、一般的な手洗いを励行していただければ、感染する可能性は少ないです。なお健康な方が保菌者となること自体が少ないといわれていますが、かりに保菌者となっても発病することはありません。また一定の条件（抗菌薬投与など VRE 感染を助長するリスクがない状態）で、一定の期間を過ぎると VRE はいなくなるといわれています。
同居する家族に感染したらどうなりますか？	VRE は長期間、保菌者の腸内にとどまる可能性があります。しかし、健康なご家族であれば VRE による感染症を起こす可能性はほとんどありません。

<p>VRE に感染していると言われました。家族の検査はしてもらえますか？</p>	<p>健康な方は保菌者になりにくく、かりに保菌したとしても無害な菌ですので、ご家族の検査は不要です。</p>
---	--

■VRE 陽性の方以外からのご質問

<p>保菌者がでている病院で外来診療を受けたいのですが、感染しませんか？マスクは必要ですか？</p>	<p>VRE はインフルエンザのようにせきやくしゃみでは感染しませんので、VRE 感染予防のためのマスクは不要です。</p> <p>長期間にわたってトイレなどを共用する入院生活と違い、外来で感染することは極めて少ないと考えられます。予防策として手洗いが最も有効です。特にトイレを使用する際には共有する物品の取り扱いに注意し（例：使用前の便座を清拭する、温水洗浄便座の洗浄・消毒を徹底できない場合は使用を控える等）、トイレ退室時には石鹸を用いた十分な手洗いとペーパータオルを使用することで感染リスクは最小限となります。</p>
<p>VRE 感染者のお見舞に行きたいのですが、大丈夫ですか？</p>	<p>健常者が保菌者となる可能性は少ないと思われまし、患者さんやベッド周囲の環境に触れたりしなければ感染する心配はありません。もしそういった可能性がある場合は、念のため手袋とエプロン着用をいただきたいと思います。また、面会終了後は念のため石けんと流水で手洗いされることをお勧めします。</p>